

目標達成計画

【 目標達成計画 】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	コロナ禍による面会規制が影響して、生活場面の様子をご家族に伝わり難く、広報誌の発行も少ない事から、今後の情報発信方法を考える必要がある。	毎月の様子を面会時には写真や動画にして、簡易的にご家族へ提供し、ケアの状況を共有をすることが出来る。	面会規制はしているが、禁止ではない為、その際に本人の様子を確認や状況を伝える。居室の様子は、施設内に入れない為、直接見る機会として写真や動画をICT機器を使用し見る事ができるような環境を整える。	2ヶ月
2	7	虐待防止研修が年二回実施が必要となっているが、現在、年一回のスケジュールとなっている。年1回と把握違いをしてい為、修正が必要。	法定研修を年二回確実に実施できる	令和4年度内に追加で1回研修を実施。研修スケジュールの修正を行う。来年度以降は、年二回でスケジュールを組む。	1か月
3	27	記録の保存について、ICT活用で電子化しているが、保存については明確な方法がなく、介護ソフト記録会社によるデジタルストレージ保管のみとなっている為、施設保存の概念として適切な方法が必要。(厚生労働省では諸記録の保存・交付について、電磁的な対応を原則認めている)	施設保存可能な方法を確立し、データ保存の安全性と補完方法を明確にする	日本KAIGOソフト株式会社に使用しているケアビューアソフトについて確認。ストレージ化をオプションで有料で準備中である。今後、データの引き出しは常時可能となる予定。その為、DVD等に保存する事が可能になり、施設でのデータ保管、書面のデジタル化推進にも対応できる。	6か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。